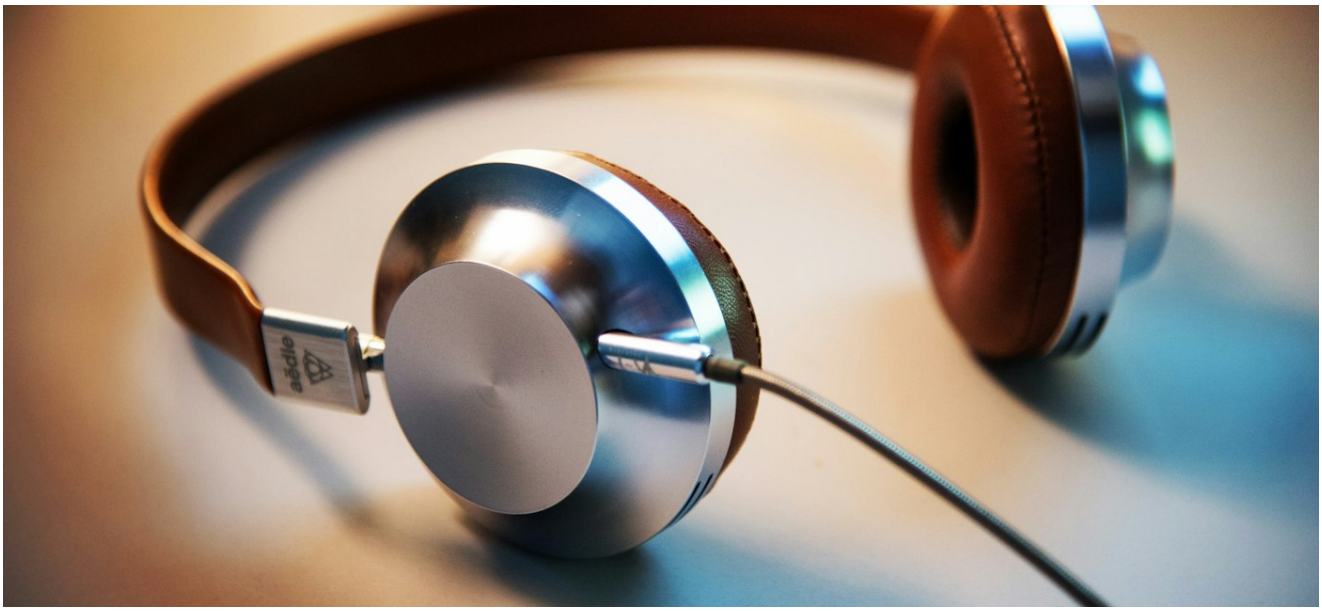
EarCheck: Hearing Test レビュー 2026

聞き取れた最も高い音から聴力年齢を推定する無料のiOS音ゲームを、実在する3本の選択肢と比べて検証しました。

著者: Lubor Šimůnek • 公開日: November 4, 2026 • 生産性 • 評価: ★★★★★ 5/5

オンライン版: https://appstoryo.com/ja/apps/earcheck-hearing-test-review-2026



EarCheck: Hearing Testは無料のiOS音ゲームです。低い音から非常に高い音まで順に鳴らし、聞こえた音をタップしていくと、最後に捉えた最高音から導いた「聴力年齢」が出ます。完全にオフラインで動作し、iOS 16.0以降が必要で、App Storeでは44言語に対応し、説明文自身が医療検査ではないと明記しています。

開示: *AppStoryo*は、*EarCheck: Hearing Test*を開発しているスタジオが運営しています。以下の比較は誰でも公に確認できる基準に基づき、実在する競合アプリを名前で挙げています。

EarCheck: Hearing TestはApp Storeで23.4 MBのダウンロード、無料で広告もアカウントもなく、バージョン1.0が2026年7月8日に出たばかりのため評価は1件もありません。

EarCheck: Hearing Testとは何で、実際には何を測っているのか?

EarCheck: Hearing Testは約3分の音のテストで、ストアではエンターテインメントに分類され、副ジャンルはゲームとトリビア、対象年齢は4+です。バージョン1.0は対応130機種で動き、iOS 16.0以降を求めます。低い周波数から上へ進み、聞こえた音を一つずつタップすると、最後に一つの数字が出ます。あなたの最高音を通常まだ聞ける年齢層です。

つまり測っているのは、あなたの機材で、あなたが決めた音量における可聴域の上限です。デシベルの閾値は示さず、何も校正せず、そうだとも主張しません。不正防止モードは無音のトラップを挟むため、何もない所をタップすると結果は無効になり、最終スコアはPDFで書き出せます。

EarCheckはどうやって音のスイープを聴力年齢に変えるのか?

この対応づけは集団についての記述であり、あなたを測定した結果ではありません。多くの人では高い周波数から先に失われます。だからこそ加齢性難聴は、会話の音量が小さく感じられるよりずっと前に、子音や高い声の聞き取りづらさとして現れます。EarCheck: Hearing Testは確定した最高音をもとに、それを普通はまだ聞ける年齢帯を示し、根拠としてアプリ内でWHO、NIH、ISO 7029の資料を挙げています。良い数字が出たのは最上のオクターブが保たれている証拠であって、聴力を診てもらった結果ではありません。

スマートフォンの音テストは信じられるほど正確なのか?

ゲームのスコアとしてなら十分です。それ以外の用途には足りず、理由は物理にあります。聴力が正常な人は20 Hzから20,000 Hzの音を受け取り、すべてのオージオグラムが拠って立つ0 dBの基準点は1 kHzで定義されています。スマートフォンと手持ちのイヤホンはそのどちらも確実には再現しません。経路のどこも校正されていないので、アプリはどの音をタップしたかは知っていても、その音がどれだけの大きさで耳に届いたかは知りません。

デシベルはこの差をさらに広げます。対数目盛なので10 dB増えると体感はおよそ2倍の大きさになるからです。音量を2目盛上げるだけで、聞き逃した音が苦もなく捉えられる音に変わります。スマートフォンの音テストの誠実な読み方は相対的なものです。最上のオクターブが薄くなったことは示せますが、デシベルの閾値や臨床家がオージオグラムと呼ぶものは作れません。

年齢別の本当の聴力の数字はどうなっているのか?

音ゲームで学ぶには重すぎる数字です。NIDCDの統計は、18歳以上の米国の成人のおよそ15%、約3,750万人が聞こえにくさを申告しているとし、補聴器が役に立つはずの70歳以上でも、実際に使ったことがある人は3人に1人未満だとしています。85 dBA以上の長時間または反復的な曝露は騒音性難聴を招くことがあり、70 dBA以下ならどれだけ続いてもその恐れは低いとされます。

年齢だけで確率は大きく動きます。米国では65歳から74歳の約3人に1人に難聴があり、75歳を超えるとほぼ半数が聞き取りに苦労します。世界ではWHOが、世界人口の5%超にあたる4億3,000万人を、より良い方の耳で35 dBを超える損失と定義される障害性難聴のためにリハビリテーションを必要とする人として数え、2050年までに何らかの程度の難聴を持つ人が25億人近くになると見込んでいます。

EarCheckは自分自身について何と言っているか?

この分野のアプリの多くより率直です。EarCheck: Hearing TestのApp Storeの説明は大文字の免責事項で終わります。公開されているままの英語原文で引用します。

> EarCheck is a game for entertainment purposes only. It is not a medical test, diagnosis, or medical device, and it cannot measure your hearing health.

この一文があるからこそ、アプリはヘルスケア / フィットネスではなくエンターテインメントに置かれており、スコアを受け取る枠組みとしても正しいものです。挑戦そのものを楽しむならApp StoreからEarCheck: Hearing Testを入れ、結果は出典付きの座興として扱い、数字が気になるなら説明文自身の助言に従ってください。もう一度遊ぶのではなく、医師か聴覚の専門家に相談することです。

聴力テストのアプリは結局どれを使うべきか?

実績のあるものが欲しいならMimi Hearing Test

- App Storeの評価43,598件・平均4.75。EarCheck: Hearing Testは0件
- ゲームスタジオではなく聴覚技術の会社Mimi Hearing Technologies GmbH製
- バージョン6.9.0、最終更新は2026年2月4日。無料、iOS 16.0以降
- 破るスコアではなく、人に見せられる結果が欲しいときの選択

周波数ごとのグラフが欲しいならHearing Test & Ear Age Test

- 開発はYuichi Sakashita。App Storeの評価257件・平均4.56
- バージョン2.4が2026年10月3日付で、更新は活発。無料、iOS 15.0以降
- 回答を一つの数字にまとめず、周波数ごとに描き出す
- どの帯域が落ちたのかを見たいときの選択

音を出す道具だけが欲しいならHigh Frequency Tones

- 開発はTyler Vergho。App Storeの評価801件・平均4.62
- 2020年5月6日のバージョン1.0.0のまま6年以上変わらず。無料、iOS 9.0以降
- スコアも年齢換算もトラップもなく、求めた周波数を鳴らすだけ
- 自分で手順を決めて自分で読み取りたいときの選択

検査ではなくゲームが欲しいならEarCheck: Hearing Test

- 無音のトラップがあてずっぽうのタップを無効にする3分の一本勝負
- スコアをPDFで書き出せる。上の3本はいずれも対応しない
- 広告なし、アカウントなし、通信なし。機内モードで動く23.4 MB
- App Storeの44言語にローカライズ済みだが、評価は今も0件

EarCheckが向いていないのはどんなときか?

本当に難聴を疑っているときです。EarCheck: Hearing Testはデシベルの閾値を出せず、イヤホンを校正できず、聴力の健康は測れないと自ら述べています。耳鼻科や聴覚専門家にかかるべきかの判断は、まさにこのアプリが不適切な唯一の用途です。さらにiOS専用で、Android版は存在しないため、Androidの家庭では同じ挑戦を遊べません。

記録を残したい場合も向きません。経時グラフもヘルスケアへの書き出しも周波数別の内訳もないので、1月の一回と7月の一回は互いに無関係なスコアのままです。それでも自ら名乗るとおりのゲームとして見れば、EarCheck: Hearing Testは23.4 MBに値し、App Storeでは無料です。

EarCheck: Hearing Test - よくある質問

EarCheckは本物の聴力検査ですか?

違います。App Storeの説明は、EarCheckが娯楽のためのゲームであり、医療検査でも診断でも医療機器でもないと述べています。校正されていない機材でどの音をタップしたかを記録するだけで、スコアに

は足りても臨床的な所見には足りません。本物の検査は専門家が防音処理された部屋で行います。

EarCheck: Hearing Testは無料ですか?

はい、完全に無料です。App Storeの価格は0円、説明文は広告もアカウントもないと約束し、不正防止モードやPDF書き出しをふさぐアプリ内課金もありません。ダウンロードした23.4 MBがアプリの全部で、周波数スイープが有料部分になりがちなこの分野では珍しいことです。

EarCheckはオフラインで動きますか?

はい。音は端末側で生成されるので3分すべてを機内モードで遊べますし、説明文はデータが端末を出ないと述べています。つまりクラウドに控えはありません。アプリを消せば履歴も一緒に消え、書き出したPDFだけが唯一の記録として残ります。

EarCheckのAndroid版はありますか?

ありません。EarCheck: Hearing TestはiPhone専用で公開されており、iOS 16.0以降が必要なので、Androidの端末に入れるものはありません。Androidで同じ音のテストをしたい場合は別のアプリが必要で、このレビューの数字はそちらには当てはまりません。

EarCheckではどんなイヤホンを使うべきですか?

静かな部屋で有線または密閉型のオーバーイヤーを使うと結果が最も安定します。スマートフォンのスピーカーは、このゲームが調べている高い周波数をちょうど削ってしまうからです。何を選んでも、回ごとに同じイヤホンと同じ音量を保ってください。どちらかを変えるだけで、数か月の加齢よりはるかに結果が動きます。

いちばん高い音がもう聞こえないのはなぜですか?

帯域の上端から先に失われるからです。NIDCDは加齢性難聴を、徐々に進み高い周波数で最も目立つものと説明しています。だから会話が小さくなる前に子音や高い声がぼやけます。40代で18,000 Hzが聞こえなくなるのは普通で、言葉の明瞭さが落ちたときこそ専門家に相談する価値があります。

EarCheckで聴力を傷めることはありますか?

大きな音全般と同じ程度にはあります。音は短いものの、NIDCDは危険の境目を85 dBA以上の長時間または反復的な曝露に置いており、密閉型イヤホンに最大音量のスマートフォンはそれを超えることがあります。始める前に心地よい音量にし、聞こえない音を追って上げないでください。

EarCheckはアカウントが必要ですか、データを集めますか?

アカウントは不要で、説明文によればデータは端末を出ません。登録するものはなく、スコアに結びつくプロフィールもないので、通信を切っていてもアプリは動きます。外に出るのは書き出したPDFだけで、それもあなたが送った場合に限られます。

EarCheckで聴力年齢が高く出たらどうすればよいですか?

結果ではなくきっかけとして受け取ってください。騒音と音量の影響を外すため、同じイヤホンで静かな部屋でもう一度試し、そのうえで本当に重要な症状を見てください。人の集まりの中で話が追いにくくなっていないかです。そうなっていれば説明文の助言どおり、医師か資格のある聴覚の専門家に相談してください。

引用形式: Lubor Šimůnek (2026). *EarCheck: Hearing Test* レビュー 2026. AppStoryo, lapnito.cz s.r.o..
https://appstoryo.com/ja/apps/earcheck-hearing-test-review-2026
© 2026 lapnito.cz s.r.o.